



令和3年度 市民と市長の意見交換会 ふれあいトーク・レポート

東大宮中学校区 令和3年11月17日(水)開催

ふれあいトークは、市長が市民の皆さまと地域の課題や市政について直接意見を交わし、課題解決に向けての方向性や具体的な方策を確認することで、地域と行政の相互理解を深めるとともに、市民目線での市政運営を進めることを目的に開催しています。

◆令和3年度のトークテーマ

トークテーマ ～子どもたちの未来のためにできること～

トークの柱 『東大宮地区の絆をより強くするために私たちにできること』

12年目を迎えた市長と市民の意見交換会「ふれあいトーク」。平成30年度からはトークテーマを「子どもたちの未来のためにできること」とし、子どもたちの「教育」について各中学校区単位で意見交換を実施しています。

◆市長から情報提供 とことん住みやすく、力強く発展するまちづくり

●地域の現状等を共有

①宮崎市でも人口減少が進んでおり、今後さらに人口減少が加速する見込みです。

- ・宮崎市全体の人口推移 平成27年 403,895人 ⇒ 令和47年 301,809人 (25.3%減)
- ・東大宮地域自治区の人口推移 平成27年 15,912人 ⇒ 令和47年 12,164人 (23.6%減)

②若い世代の転出超過が大きくなっています。そのため魅力的な雇用創出と地元で活躍できる人材育成に取り組んでいます。

- ・宮崎市の年齢別の転入転出数をみると、15～19歳、20～24歳で大幅な転出超過となっています。
- ・市ではそのような現状に歯止めをかけるべく、企業誘致による新たな雇用の創出や、中学生を対象として県内企業を紹介する体験型進学・就職イベントなどを実施しています。

③人口減少が進むことで、地域の課題がより複雑化、多様化しています。

- ・人口減少のスピードや高齢化率、歴史・文化は地域によって異なるため、それぞれの地域の特性に合ったまちづくりが求められています。

④地域には様々な組織や団体、行政機能があります。それぞれ連携し、特性を生かしたまちづくりを行いましょう。

⑤地域活動への参加で、元気な地域コミュニティを次の世代につなげましょう。

- ・東大宮中学校区での活動事例・・・彼岸花花見演奏会、コミセンまつり、寺子屋事業 等



▲ 東大宮中学校区の現状や課題、市が現在取り組んでいる施策などについて、市長が説明

◆ フリートーク

● トーク参加者からの意見

- ・東大宮地域の魅力として、地元の一体感が強い地区で地域愛にあふれ、住民みんなで子育てするような環境である。
- ・立ち当番の方が挨拶に加えてじゃんけんをし、子ども達の反応を上手く引き出している。
- ・地域の課題として、子ども会の加入率が年々減少しており、現在は20～30%である。
- ・今後どのような人でも受け入れられる地域となるため、様々な場面で選択肢を多くすべきである。
- ・頼りになる自立した中学生を育成するため、工夫された企画を考えていきたい。
- ・寺小屋活動(学校が対応できない場面での見守り)を今後も行っていきたい。
- ・地域が中学校と連携して、大人の顔がみえる存在になることが大切である。

● 中学生からの意見

- ・挨拶を意識されている住民の方が多い。ただし、個人的には挨拶のあと会話をするなど一歩踏み込んだ行動がしたい。
- ・地域の魅力として、ボランティア活動が盛んである。また、地元の方が入試の面接官をしてくださるなど、人が温かい。
- ・今は生徒会で完結している活動を、まちづくり関連など校外の事業につなげたい。
- ・部活動単位で地元の祭りを手伝いたい。
- ・宮崎を魅力のあるまちにするため、大学や専門学校を増やしてほしい。
- ・学校でのデジタルトランスフォーメーションを推進するため、他校との交流の橋渡しをお願いしたい。
- ・スポーツをする人たちにとって、(合宿やキャンプで)来やすい環境を整えてほしい。



● 傍聴者からの意見（アンケートより）

- ・「地域づくりは人づくり」と本日のふれあいトークで生徒達の話聞いて再認識できました。いかに地域の魅力を発信するかが重要であり、そのために地域の課題を洗い出し、少しずつみんなで解決したいと思いました。
- 経験は宝だと思います。どんどん色々な大人との交流経験させてあげてください！大人の方達も地元が住み良いまちづくりをするさらなる努力をお願いします。
- ・中学生がいろいろなボランティアしてくれているが、共に話した事はあまりなかったと思う。中学生から「挨拶だけでなくもっと地域の方と語りたい」とあったので、私達も聞く体制を整えた方が良いと感じました。

● 市長からの回答、感想

- ・東大宮地区は地域の連携がとても充実している。
- ・素晴らしい環境で育つ子ども達が、将来宮崎で暮らしたいと思う政策をすすめていきたい。

〈お問い合わせ〉

宮崎市 秘書課広報広聴室
TEL 21-1705
FAX 29-6547

